

令和 元 年度 第2次総合計画 施策マネジメントシート
(平成 30 年度の実績評価)

作成日 令和 1 年 6 月 6 日
更新日 令和 年 月 日

総合計画体系	政策No. 4	政策名	心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成	施策主管課	教育委員会 生涯学習課
	施策No. 19	施策名	生涯学習の振興	施策主管課長名	村松 直樹
施策関連課名			市立図書館、市立美術館		

1 施策の目的

① 対象(誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)
市民 公民館、生涯学習センター、図書館、美術館 対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標	学習テーマを持ち、誰でも学べる。 学習の成果を活用することができる。 スポーツ・レクリエーション活動が習慣化され、健康増進に繋がる。 利用環境やサービスの充実により、学習やスポーツ施設の利用者が増加する。 意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値区分	基本計画現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
① 対象指標	ア 市人口	人	見込み値			72,322	72,001	71,680	71,359	71,038
			実績値	72,963	72,715	72,305	72,018	71,880	71,602	
	イ 生涯学習センター等の施設数	箇所	見込み値			3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3	4	
	ウ		見込み値							
			実績値							
② まちづくり指標	A 生涯学習を実践していると回答した市民の割合	%	目標値			29.0	31.0	33.0	35.0	37.0
			実績値	27.8	33.1	29.0	31.2	29.4	29.8	
	B 図書館レファレンスサービス(調査相談)件数	件	目標値			2,060	2,120	2,180	2,240	2,300
			実績値	1,961	3,939	5,488	5,906	6,488	6,767	
	C 美術館ワークショップの参加者数	人	目標値			1,300	1,325	1,350	1,375	1,400
			実績値	1,269	2,543	1,571	1,999	1,891	278	
	D スポーツ・レクリエーション活動を習慣化していると回答した市民の割合	%	目標値			37.0	39.0	41.0	43.0	45.0
			実績値	35.7	37.4	34.3	33.0	34.1	28.5	
	E		目標値							
			実績値							
まちづくり指標設定の考え方		A:生涯学習活動の成果を示す。 【市民アンケートの『趣味や娯楽なども含めて、生涯学習活動を行っていますか』において、「行っている」「どちらかというに行っている」と回答した人の割合】 B:図書館の利用促進活動の効果を示す。 【レファレンスサービスの回答件数】 C:美術館の利用促進活動の効果を示す。 【美術館ワークショップの参加者数】 D:スポーツ普及活動の成果を示す。 【市民アンケートの『習慣的にスポーツやレクリエーション活動を行っていますか』において、「行っている」「どちらかというに行っている」と回答した人の割合】								
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方等)		A: 現行値から5年間で10%増加を目標に設定 B: 図書館利用やサービスの拡大を目指し、5年間で約400件(年間約3%)の増加を目標に設定 C: 5年間で約200人の増加を目指す D: 現行値から5年間で約10%増加を目標とした数値を設定								

3 予算等の推移

※当初予算額。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
関連事業本数	83	78	78	61	58	69	56
関連事業予算額(単位:千円)	675,151	815,369	447,605	756,018	804,139	1,550,116	526,483
(予算額の内訳)	国庫支出金	0	83,300	0	0	0	12,820
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	222,500	272,400	17,100	256,500	345,500	864,900
	その他	53,230	16,210	29,514	29,839	27,299	26,568
	一般財源	399,421	443,459	400,991	469,679	431,340	658,648

4 評価結果(施策の有効性評価)

① 目標達成度評価(目標値と実績値との比較)	
<input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった <input type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった	※左記の理由 指標Aは、ここ2年間とも目標値を下回ってしまった。 指標Bは、職員による利用者への積極的な対応を行ったため、目標値より高い実績値となった。 指標Cは、改修工事もあったことから1回の開催にとどまり、目標値を下回った。 指標Dは、昨年度より5.6ポイントも下がり、目標値との差が広がった。 ※美術館には申し訳ないが、指標B以外は目標値を達成できなかった。
② 時系列比較(基本計画現況値からの推移)	
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	※左記の理由 指標Aは、多少の変動はあるものの、おおむね横ばいである。 指標Bは、平成28年度の実績が5,906件だったものが年々増加し、平成30年度の実績は、6,767件となった。 指標Cは、改修工事に伴う閉館期間の影響で減少しているものの、1回の開催で約280名が参加しており事業成果は向上している。 指標Dは、今回の激減理由を把握するのはむずかしいため、もう一年様子を見たい。 ※目標値には達していないが、数値は上昇傾向にある。
③ 他自治体との成果実績値の比較	
<input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である	※左記の理由 指標Aは、甲斐市など各公民館が活発で独立している自治体は、自主事業として実施しているため、講座数と成果は把握していないとのこと。中央市と比較すると高い水準にある。 指標Bは、平成29年度県内の市立図書館のレファレンス件数平均値の5,373件と比較すると、6,488件で上回っている。(H30年度:6,767件) 指標Cは、県内外の類似比較施設は無いので比較できない。 指標Dについて、本市は体育協会の事業として自主事業を行っているものが多く、参加者の多くには満足いただいている。また、各自治体の担当者間の話では、本市はよくやっている方だとの意見である。

5 まとめ(課題の抽出と解決の方向性)

施策の課題 (現状の問題点)	課題解決の方向性
○生涯学習講座の整理・拡充 ・各家庭における生活体系の多様化に伴い、自己研鑽や趣味、スポーツなどに費やす時間が短くなっている。また、民間の各種講座が充実している現在、市に求める人が少なくなっている。	現在実施しているメニューを再点検し、毎年同じような講座で、受講者が減少傾向にあるものは、削減し他のメニューに切り替えていく。
○レファレンス技能向上及び資料の充実 ・資料や情報を的確に案内できるサービス機能の強化が必要。 ・調査・研究のための必要な資料整備については予算確保が難しい。 ○図書館事業の周知方法 ・読書普及のための活動の充実及び、情報提供の拡大が求められている。	○レファレンス技能向上のための職員研修を行う。 ○計画的にレファレンス資料及び地域・郷土資料の収集・整理を行い、市民に提供する。 ○ホームページや広報の他、フェイスブックなど様々な機関を通して事業のPRを行う。
○新たに整備した市民ギャラリーや研修室の利用拡大 ・昨年は改修中だったため、市民ギャラリーやワークショップの開催ができなかったが、開催場所が整備できたので、市民へ周知を積極的に推進する。	○市民ギャラリー利用促進に向けた周知 ○展覧会のテーマに沿ったワークショップの開催 ○中学校、高校部活動との連携 ○教育普及事業の充実